



イマジン ロータリー

IMAGINE ROTARY



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 加藤 勝朗 幹 事 塚越 淳史 会報・雑誌委員長 関 元明

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算2959号 2022年7月5日(晴れ) 第1回例会 会員数113名

ハイブリッド例会

点 鐘 加藤 勝朗 会長
司 会 SAA 石田 裕之 会員

◇国歌「君が代」

◇ロータリーソング「四つのテスト」

※マスクを着用し、心の中で斉唱

◇本日のランチ 幕の内弁当

※会場にて食事



新会員紹介

紹介 床井 光雄 会員



氏 名 原 賢一郎
(はら けんいちろう)
年 齢 48歳
事業所名 アズマ原総業(株)
役 職 代表取締役

職業分類 土木工事

所 在 地 〒321-0982

宇都宮市御幸ヶ原町14-34

電話番号 028-613-6288

FAX番号 028-663-0133

推 薦 者 末永義雄会員 床井光雄会員

感謝状並びに記念品の贈呈



加藤勝朗会長から倉井章前会長へ



加藤勝朗会長から渡邊和裕前幹事へ

認証状引き継ぎ式



倉井章前会長から加藤勝朗新会長へ



会長挨拶

加藤 勝朗 会長



生まれて初めての、そして生涯最後の、ロータリー認証伝達を受けるという体験をさせて頂きました。この日の為に体重を維持し、血圧を安定さ

せ、新しいスーツを作って、万端の準備をしたつもりです。新理事役員の皆様には準備のためのこの半年間、ご心配・ご迷惑をおかけしました。これからの1年間、理事役員ばかりでなく会員の皆様にご迷惑・ご心配をおかけすると思います。どうか1年間、寛容と忍耐の精神で見守ってください。会長職を務めるにあたり、私なりの覚悟のほどを、本日の卓話の時間にさせていただきます。よろしくお祈りします。



幹事報告

塚越 淳史 幹事

- ◇ロータリーレート 7月は1ドル136円。
- ◇7月1日現在、当クラブの会員数113名。
 - ※6月30日付けで今泉臣夫会員、小石敬信会員、佐藤克廣会員、薮下行平会員 退会。
- ◇来週の第2例会は、委員会の事業計画発表。
- ◇2023年5月27日～31日のオーストラリア メルボルンでの国際大会の登録受付開始。希望の方は、私か事務局までご連絡を。
- ◇ガバナー事務所よりお知らせ 第4グループ「しもつけロータリークラブ」が2022年6月23日より「下野上三川ロータリークラブ」と名称を変更。

新SAAスタッフ紹介 石田 裕之 SAA

副SAAの中山靖之会員、山下大介会員、菊池信寿会員、渡辺純一会員と私で務めさせていただきます。よろしくお祈り致します。



委員会報告

- ◇スマイルボックス委員会 炭田 匡利 委員長
加藤年度理事役員一同
本日より加藤年度がスタートします。1年間ご協力よろしくお祈り致します。
- ◇親睦委員会 山崎 盛美 委員長
7月26日夜間例会は納涼親睦例会。8月14日は巨人の会のサポートをいただき、東京ドームの野球観戦を企画しています。3年ぶりのイベントです。多くの方のご参加をお祈り致します。



卓話

「今年度会長方針」

加藤 勝朗 会長

これからの1年間会長職を務めさせて頂く加藤です。自己紹介をいたします。

私の父方母方ともに百姓の家系で、そのDNAを受け継いでいます。ご先祖様が日本の歴史を支えてきたという自負心があります。その一方で自

分には百の仕事をこなせないという劣等感と辛い野良仕事から逃げているという罪悪感もあります。父は農家の末っ子で職業軍人から戦後自転車販売会社を創業しました。子供の頃、父親は怖い存在でした。そんな中、祖母に甘やかされて育てられ、4歳までまともにしゃべれず、5歳まで箸を持たず、6歳まで読み書きができませんでした。近所の子にはよくいじめられ、時にはいじめ返し、学校のテストでは0点も100点も取ったことがあり、褒められればいい気になり、叱られればしょげる、そんな子供でした。そのような自分の持つ矛盾と多様性に振り回されながら、思い込みと勘違いの繰り返しで現在に至っています。

大学を卒業後は進学も就職もせず、帰省しました。バブル期の1989年に父の会社を引継2017年に従業員に会社を譲渡するまで代表取締役として働きました。1993年に知り合いのアーティストの作品を販売する会社を設立しました。ドイツのアートショーに出展した時に、「その値段ならピカソのエスタンプが買える」と言われたことにショックを受け、たまたま縁のあったフィンランドのアーティストの作品の輸入販売を始めました。会社設立2年後に宇都宮東ロータリークラブに入会しました。

入会3年を過ぎた頃、台湾の故宮美術館に行くツアーに参加しました。このツアーがきっかけとなり、40歳未満の社会人4人を1か月短期留学させるロータリー財団プロジェクトGSEのリーダーとしてフィンランドに派遣されました。当時のガバナーに「GSEリーダーはガバナー代理なのだから、先方に失礼の無いように！」と厳しく諭されました。実質4年の在籍期間で何も活動していない私をガバナー代理にするというロータリーに驚くばかりでした。この1か月間の経験は自分のロータリーに対する姿勢を大きく変えました。そして太城ガバナー年度にはロータリーの友地区代表委員を務め、真剣にロータリーについて勉強しました。そこでの経験は創立60周年記念誌に投稿してあります。

そもそもロータリーとは何なのか、という問いの回答は『ロータリーの友』毎号6ページにあります。その回答を自分なりに咀嚼して、ロータリーとは「奉仕の理念のもとに集まった、社会的地位のある、自由人の団体」との結論に至りました。100人のロータリアンはそれぞれ100の奉仕の理念を持っています。100人のロータリアンには100の社会的地位があります。そして誰もが、誰からも拘束されず、誰も傷つけず権利を行使し、責任の取れる自由人です。とは言え何のルールもなく好き勝手な言行では組織として成り立ちません。そのために「四つのテスト」があります。

最初のテストは真実かどうかです。ここで問題です。次の内真実はどれでしょう。

- A $1 + 1 = 0$
- B $1 + 1 = 2$
- C $1 + 1 = 10$

解答はすべて真実です。Aはモジュロ2の加算で正解、Bは10進法の加算で正解、Cは2進法の加算で正解です。このように真実は所与の条件や、それぞれの立場の違いで異なるのです。

次のテスト、みんなに公平か、みんなのためになるかどうか、について考えてみます。そもそもみんなとは誰のことなのでしょう。数字で表される人数や抽象的な概念でまとめられる人々のことではないはずです。顔と名前を持った具体的な人間のほうです。家族であったり友人だったり、この人と行動したい、この人につくしたいと思える、自分を含めて3人以上の人がいればみんなと言えるのではないのでしょうか。

以上のような私のロータリー観に基づいて、自分なりの方針を決めました。まず、入会動機の違い、ロータリーに対する考え方の違い、ロータリーへの期待の違い、一人一人の多様性を、お互いに尊重しあい、好意と友情を深めたいと思います。そして、会員みんなに、入会してよかった、面白い、楽しいと思ってもらいたいです。そのために、「ロータリアンの権利を行使しよう」との方針を掲げます。ロータリアンでしかできない事、ロータリアンだからできる事をやってみようではありませんか。

科学的に証明されているわけではありませんが、組織には2:6:2の法則があるそうです。私の会長方針に共感して頂ける方は2割、無関心な方は6割、首をかしげる方2割に分かれるかもしれません。真実と信じ、みんなのためと思って強引な運営をすれば、ぎくしゃくした関係になります。そうならないように、調整指針として「いいかげんに、てきとうに」会長職を務めます。漢字で書くと「良い加減に、適当に」英訳すると「Good behave and proper choice」もう一度和訳すると「ベターやベストを求めず、適切な判断」をするというのが本意です。

では具体的にどういうことをするかを発表します。会長の目標を掲げません。つまりトップダウ

ンの運営はしない、ということです。目標を持たない組織は衰弱します。各委員会の目標がクラブの目標とします。委員会には活発に活動して頂きます。そして会員一人一人に目標を持って頂きたいと思います。個人の目標達成をみんなで支え、喜ぶ、まさに「万人は一人のために、一人は万人のために」を実践して行きましょう。このことは宇都宮東ロータリークラブが創立以来61年間実践してきたことです。その歴史を踏まえた上で前年並みの運営を心がけます。ただしアフターコロナを見据えて例会など少しずつ以前の形に戻して行きます。また会員の3分間スピーチも継続いたします。自由なテーマで話をして頂きましたが、今年は「私のロータリー」をテーマに自身の入会動機・入会して良かった事・失望した事・今後やってみたい事・期待する事、など皆さんのロータリーへの想いを3分間、会長になったつもりでスピーチをして頂きます。

※加藤年度トップバスターは、会長の指名により、菊地憲壽会員

最後になりますが、「ロータリーは人生の道場である。」と先輩に教えて頂きました。道場とは、師範のもとで厳しい試練に耐え、それまでできなかったことができるようになる教育を受け、極や悟りや友などかけがえのない何かを得る場です。ロータリー道場は、誰からも拘束されず、誰にも迷惑をかけず権利を行使し、自分の感性と意志で責任を果たすことができます。そして、責任の追及はするが、責任を他者に取らせたり、責任を他者に負わされたりせず、自分で責任を取る場です。この素晴らしい道場の存在を多くの人に知ってもらい仲間を増やし、ロータリー道場を大いに活用し、ロータリアンの権利を行使し、かけがえのないものを獲得しましょう。

.....
会報通算号数について訂正とお詫び

昨年度11月30日の会報を通算2933号とするところ、2932号としてしまい、その後、誤ったままカウントしてしまいました。本日が通算2959号となります。大変申し訳ございませんでした。